

町職員新体制



新規採用職員3名を含めた121名の職員で新年度スタートします！職員配置表は次ページに掲載。

▶ 問合せ 総務課 ☎ 22-0511



出身地 日置市東市来町
住民税務課 榎木慶太(29)

日置市から
やってきました！

町の魅力やイベント
／ どんどん発信！

経験を生かして
笑顔で頑張ります！

出身地 錦江町(落河自治会)
政策企画課 小川弘晃(32)

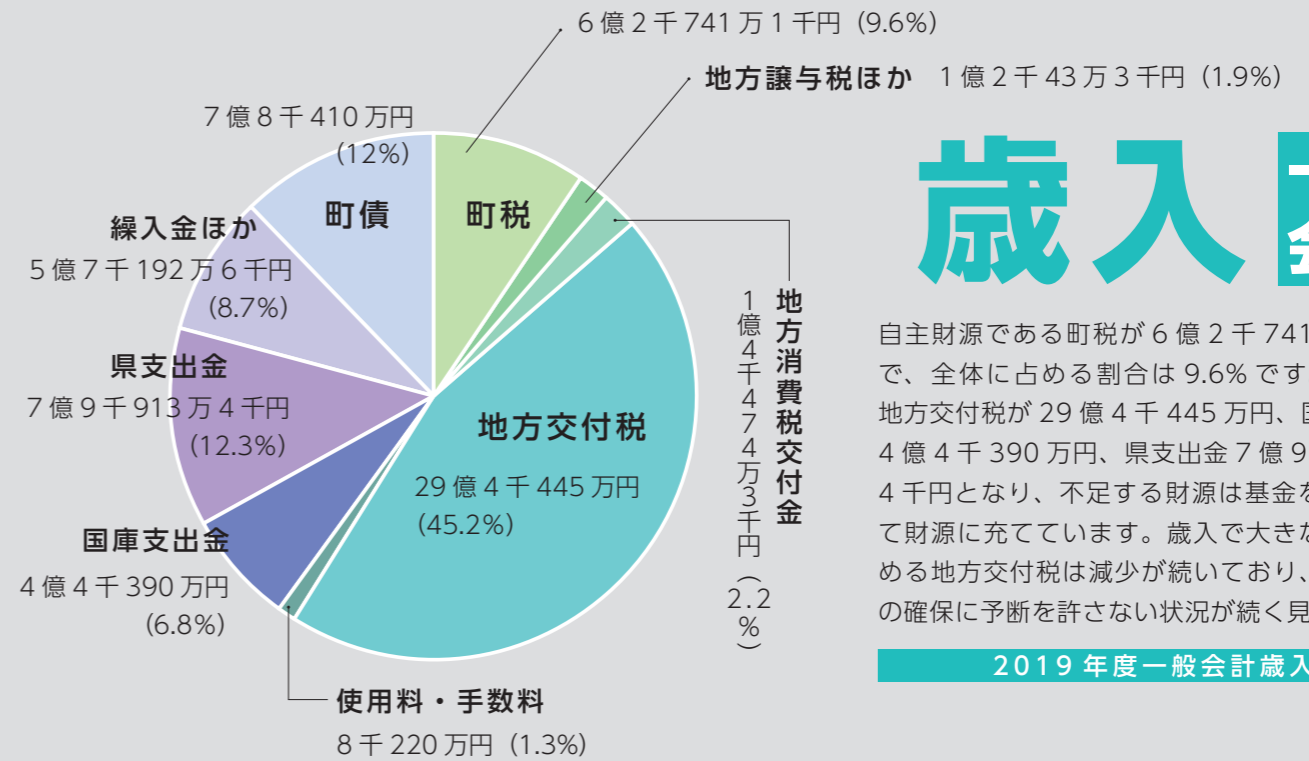
出身地 肝属郡錦江町(平石自治会)
観光交流課 平石龍之介(23)

日置市東市来町出身です。前職では、自動車部品の設計・生産管理、レジのサービスエンジニア、健康食品の製造など行っていました。趣味はスポーツ観戦、野球、フットサルなどスポーツ全般です。特技は太る事です…。普段はあまり動きません。錦江町のことをいろいろと勉強し、早く慣れ、一生懸命頑張りたいと思います。よろしくお願いします。(榎木)

中学校まで錦江町で育ち、久留米工業大学を卒業し、錦江町の職員として働くことになりました。運動は小学生のころから大学までバレーボールをしていました。今後は、錦江町の豊かな自然やさまざまな観光・交流イベントを知ってもらい、地域活性化につながるよう頑張りたいと考えています。未熟な部分も多いと思いますがよろしくお願いします。(平石)

錦江町職員として4月から勤務することになりました。宿利原出身で、当時は勉強と共に陸上とソフトテニスに精を出しました。趣味はゴルフと魚釣りです。以前は、建築関係や高校の教員とさまざまな仕事をしていました。これらの経験を生かして、地元錦江町のため日々笑顔で励んでいきたいと思っていますので、よろしくお願いします。(小川)

歳入 一般会計



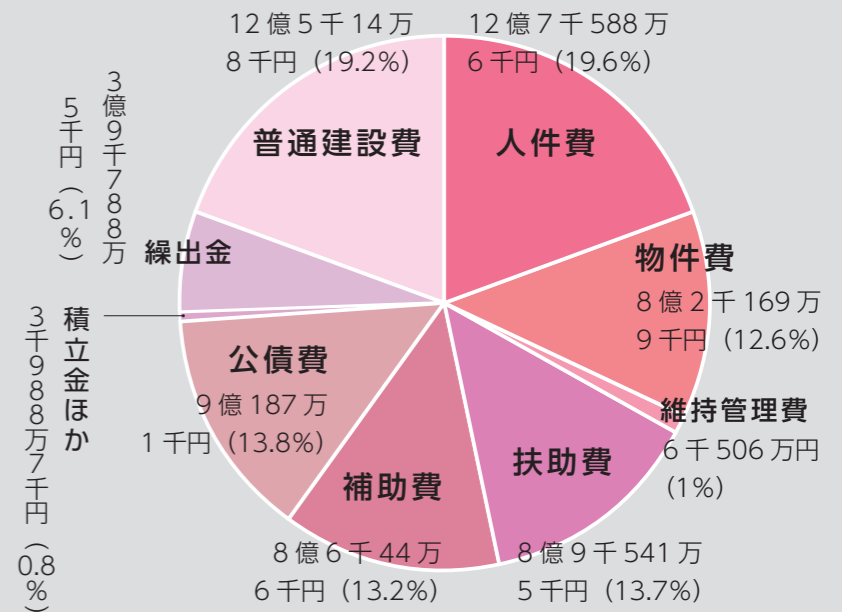
自主財源である町税が6億2千741万1千円で、全体に占める割合は9.6%です。その他、地方交付税が29億4千445万円、国庫支出金4億4千390万円、県支出金7億9千913万4千円となり、不足する財源は基金を取り崩して財源に充てています。歳入で大きな割合を占める地方交付税は減少が続いており、安定財源の確保に予断を許さない状況が続く見込みです。

2019年度一般会計歳入

一般会計 歳出

歳入は、前年に比べ6億1千595万8千円の減額になりました。前年度建設した総合交流センターが主な要因です。科目では人件費が最も多く12億7千588万6千円、普通建設費が12億5千14万8千円と続きます。経常経費の削減や事業の見直しを図りながら、行財政のさらなる効率化を進めます。

2019年度一般会計歳出(性質別)



2019年度予算全会計

一般会計	65億1,829万7千円
特別会計	
国民健康保険事業	12億5,958万8千円
後期高齢者医療事業特別会計	1億3,115万2千円
介護保険事業(保険事業勘定)特別会計	12億1,410万9千円
介護保険事業(サービス事業勘定)特別会計	906万6千円
簡易水道事業特別会計	1億1,175万7千円
農業集落排水事業特別会計	3,102万3千円
2019年度予算総額	92億7,499万2千円

2019年度の各会計予算総額は92億7,499万2千円となり、前年度比約7%の減、7億486万円の減額となりました。人口減少や地方交付税の減額など厳しい状況が続きますが、経常経費の削減、事業の取捨選択、行財政のさらなる効率化などを図りながら、希望あふれる「まちづくり」を進めていきます。



町の予算を分かりやすく説明した「見たい！知りたい！まちのしごと」を5月第4木曜日の自治会使送便で全戸配布します。

年齢は2019年4月11日現在